

夜香木

w/m: 戸塚絵理

ここで咲いています
誰に気づかれずとも
夜が回り道して 祈りをさまたげる
けれど

月にいざなわれ 香り踊らせて
遠くのあなたを想うだけ

ここで待っています
待ち人きたらずとも
季節は足踏みしてうつろいをためらう
けれど

風に導かれ 香る星の花
会えないあなたを想うだけ

ハーアットゥ アヴェーヨ 香り震わせて
戻らぬあなたを想うだけ

いつでもあなたを想うだけ

<楽曲説明>

あちきはチージ(辻:花街)のジュリ(芸妓)でありんす。あちきに三線(しゃみ)と唄と恋情なるものをお教えくださった主さま。たとえ二度と会えなくても、毎日当間森にてご無事をお祈りすることがあちきの幸せでありんす。おゆかり様方にはいいなんすな。

夜香木は沖縄では「ジュリ花」と呼ばれる。

ジュリ、彼女らなくして今日の沖縄の民謡、芸能はここまで発展せず、三線音楽のここまでの普及伝播はなかった。にもかかわらず、さげすまれ、人間以下の当て字までされ、無視されてきた。彼女らに、沖縄の文化、とりわけ三線を愛する戸塚からの感謝と敬意をこめて。